

第2回エコラーニングツアー

林道でのワークショップ、薪オープン料理を楽しむ
自然との付き合い方を考えよう

【開催日】

2024年9月21日(土)

【会場】

・林道でのワークショップ、カーボンオフセットの取り組み紹介
(福井県坂井市丸岡町山口64-31)

・福井県気候変動教育プログラム 福井市地域交流プラザ
(福井県福井市手寄1丁目4-1)



林道でのワークショップ【協力事業者：株式会社 CINQ】

参加者は実際に林業で使用する林道を歩きながら、日本の山の環境と林業という職業について説明を受けました。木を切らない(手入れをしない)ことによって山が荒れ、生き物が住みにくく災害が起こりやすくなっていることを知り、間伐や山を利活用の必要性を学びました。



カーボンオフセットの取り組み紹介【協力事業者：株式会社 CINQ】

事業者が経営するレストランにて地元食材を利用した薪オープン料理を楽しみながら、食と自然のサイクルについて学びを深めました。食後には、間伐材を活用した製品開発や防災のための活動など、林業と民間企業の連携による里山保全事業の取り組みやその可能性についての講義を受けました。



福井県気候変動教育プログラム【協力事業者：一般社団法人福井県まちづくりセンター】

気候変動について考えるワークショップを通して、福井県内や世界で起きている異常気象の原因やその関連性について意見を出し合いました。また、学んだことを県民に広く伝える方法についても話し合いながら、地球温暖化防止や気候変動の適応に向けた活動を「自分事」として考えました。



【参加者の感想】

- ・温暖化を防ぐためには植林をしないといけないと思っていたのですが、実はそうではなくて、間伐をして立体的な森林を作ることで光合成の効率を上げ、それが温暖化防止にも繋がるということを知って驚きました。他にも地形を少し変えるだけで山のふもとの民家へのリスクが出てきたり、土を盛ることで土石流が起きやすくなったりするなど、しっかり考えて山の活用をしないといけないことを初めて知りました。
- ・環境問題は人間が起こす行動の全てに関係していることを知りました。森林にはあまり触れあう機会がなかったけど、今日のプログラムで生活していく上で自然を気にしなければいけないと思いました。
- ・このツアーに参加することで、普段は自分からは調べないようなことを関係者の方から直接話を聞いてとても刺激を受けました。最近では山に入る人や機会が少なくなっているということなので、若い人には実際に山に入る経験や斧を持つ経験などをして、山や環境に興味をもってほしいです。